

**A. (マークシート問題)**

次の説明文 (M76 から M81) は、上下 2 つの文章から構成されている。前・後文ともに正しければ a、前文のみ正しければ b、後文のみ正しければ c、前後ともに間違っていれば d にマークせよ。

**M76**

1. 小脳は脳全体の神経細胞の約半分を占める。
2. 小脳は第 I から第 X 小葉の横列構造がある。

**M77**

1. 小脳皮質は虫部、中間部、外側部からなる縦帯構造をなし、虫部は大脳皮質からの入力を受ける。
2. 前庭小脳は発生学的に古く、魚類や鳥類で発達している。

**M78**

1. 小脳皮質の唯一の出力系はプルキンエ細胞からの出力であり、小脳下核へは抑制性の神経結合をもつ。
2. 第 VI 小葉付近の体部位再現 (入力) については、顔の領域である。

**M79**

1. 小脳皮質の神経細胞は、バスケット細胞、顆粒細胞、ゴルジ細胞、プルキンエ細胞、錐体細胞の 5 種類の神経細胞から構成されている。
2. 小脳皮質への入力は登上線維と苔状線維からなる。そのうち苔状線維は、顆粒細胞を経て、プルキンエ細胞に入力する興奮性の神経結合をもつ。

**M80**

1. 1 個の下オリーブ核細胞は 1 個のプルキンエ細胞へ神経結合している。
2. 電気生理学的手法により、プルキンエ細胞から活動を記録すると、登上線維入力に由来した持続時間の長い単純スパイクが記録できる。

**M81**

1. 小脳皮質は分子層、プルキンエ層、細粒層の 3 層構造からなる。
2. 小脳核は小脳深部に位置し、小脳皮質からの投射線維を受ける。

**B. (記述問題 1)**

右図の小脳症状は何と呼ばれているか。下線部に記述せよ。

\_\_\_\_\_



**C. (記述問題 2)**

次の説明文は、授業で習った小脳性の言語障害について示したものである。空欄部 (①~③) を埋め、文章を完成させなさい。

話かたは遅く、① \_\_\_\_\_ で、ときに② \_\_\_\_\_ 的である。構音、発声、呼吸などの  
③ \_\_\_\_\_ の協調を欠くためである。